



学校だより 7月号

かわど 60



令和5年6月30日
千葉市立川戸小学校

←創立 60 周年マスコットキャラクター
「ゆりっきー」です。

梅雨空の合間をぬって、水泳学習もスタートしました。プールサイドには元気のよい子供たちの歓声が響いています。さて、6月は大変多くの学校行事がありましたので、その一部についてお伝えします。

○いのちを守る教育(AED体験学習)(5年)

6/5(月)に「いのちを守る教育」としてAEDを使った心肺蘇生に関する保健体育の授業を行いました。ちょうど水泳学習が始まる時期ですので、子供たちも熱心に講師の先生のお話に耳を傾けていました。実際にAEDを使って人形での模擬的な練習も行ったので、心に強く印象づいたことと思います。「倒れている人がいたらAEDを使って助けたい」という感想をもつ子供も見受けられました。

○東京に校外学習に出かけました(6年)

6/9(金)に6年生が国会議事堂と科学技術館に行ってきました。ちょうど国会の議会開催中であったため、駐車場は例年になく大混雑でしたが、無事に議事堂内の見学を行うことができました。雨もやみ、午後からの科学技術館では様々なコーナーをグループで楽しく巡りながら体験的に学ぶことができました。きっと科学の面白さが体感できたのではないのでしょうか。

○プール開きと水泳学習スタート(全学年)

6/12(月)から子供たちが待ちに待った水泳学習の期間が始まりました。プール開きでは、水泳学習の無事を祈念し、ドローンの飛行実演もサプライズで実施したので、子供達には大変好評でした。今年も事故のないように安全第一で学習を進めていきます。

○げんき交流会が開催(ゆりの木)

6/15(木)にはコロナ5類への移行に伴い、ポートアリーナで4年ぶりの「げんき交流会」が開かれました。会場内ではパラリンピックの競技種目であるポッチャをチームごとに分かれてプレイしました。体育館のあちこちで熱戦が繰り広げられ、大きな歓声上がるほど、みんな夢中になっていたようです。たくさんの学校の友達とも知り合えたので、楽しく仲良く、いい汗をかけたことと思います。オンラインではなく対面の良さを感じることができたイベントでした。

○縄文時代「火起こし体験」を行いました(6年)

6/27(火)には歴史学習の一環として千葉市の埋蔵文化財センターの協力を得て、縄文人になりきった「火起こし体験」を行いました。摩擦熱を利用して火をつけるのは難しい作業かと思っていたのですが、案外子供たちは上手に火をつけていました。千葉市には大きな加曾利貝塚もありますので、ぜひ歴史学習にも興味を持ってもらえると嬉しいです。もうじき夏休みですので加曾利貝塚博物館へ見学に行くのもいいかもしれませんね。

○60周年記念ドローンでの集合写真(全学年)

6/27(火)には創立60周年記念行事として、ドローンによる全校児童の集合写真撮影を行いました。当日は曇天だったおかげで、熱中症の心配も低く、無事に撮影を終えることができました。写真はいろいろなカラーのエプロンを身に着け、全児童で川戸小の校章を形作りました。どんなふう撮影できているのか、写真の仕上がりが楽しみです。